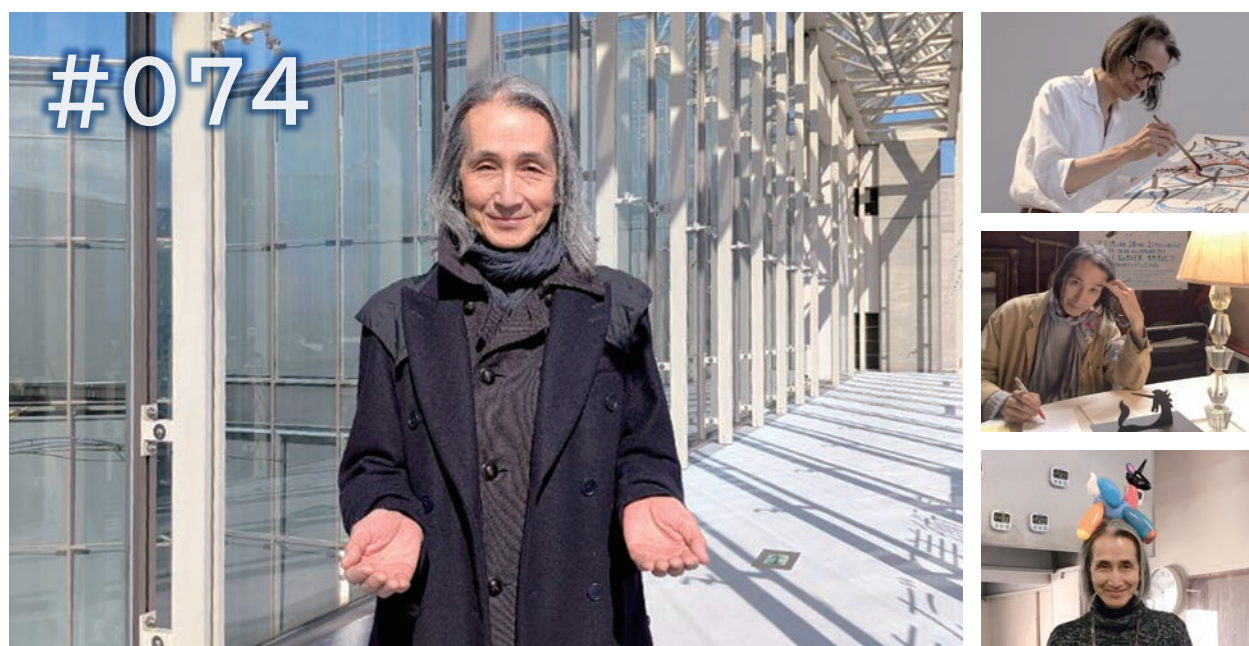


残すことも、創ることだ。

ビジュアルアーティスト ミック・イタヤ Mic Itaya



イタヤさんは、絵を描くことを原点として、デザイナーとアーティストの両面で活動してきました。10年ほど前、幼なじみである鈴木茂兵衛商店から提灯制作を依頼されたことをきっかけに、まちの伝統工芸と向き合うようになります。

多くの作品が評価される中で、伝統工芸は土地の文化や生産、そして自然環境と切り離せないものだ、あらためて実感したと言います。UNIQLOやBEAMSでの仕事、近年取り組まれているソフビ制作（型に樹脂を流し込んでつくる立体作品）など、表現の領域は多岐にわたりますが、その根底にあるのは「古いものの中に、次の時代のヒントがある」という視点です。

筑西市には、まだまだ、その価値に気づかれていない宝が数多く眠っている。だからこそ、壊す前に立ち止まり、残す意味を考えることが大切だと語りました。

■ イタヤさんのおすそわけは、
アートやデザイン、伝統工芸についてアドバイスすることです。
 連絡先は、筑西市広報広聴戦略課 TEL.0296-24-2172